

# 心を一つにする町内小中学校間交流活動 『4校合唱交流会』

揖斐川町教育委員会 教育振興課

## 1. はじめに

揖斐川町は平成17年1月の合併以来人口減少が続いており、現在の人口は20,561人(令和2年10月1日現在)、小学生は870人、中学生は506人という状況です。当町の特徴としては、約803平方キロにおよぶ圏域面積です。このため小中学校も人口規模が似通った自治体に比べて12校と、多く存在します。町としては児童生徒の一体感をいかに醸成していくかについて創意工夫を凝らしているところです。

## 2. 実践事例

揖斐川町の教育と重点のなかで「特色ある教育課程の編成・実施」にある『学校間交流活動』を位置付ける」を受けて、町内の学校では様々な交流活動を企画し、実施しています。例を挙げると「ソフトバレーボールによる交流」や「英語の授業交流」あるいは「テレビ会議による交流」などです。

しかしながらこれらの交流は北方小と坂内小、揖斐川中と谷汲中といったように2校間の交流活動といったパターンで、全域の児童生徒が交流するといったものではありませんでした。

平成28年度からの企画で、前出の課題を解消すべく町内の中学校全4校が一堂に会して合唱による交流を図る「4校合唱交流会」が実施されました。

各校の合唱に関する取組を聞いたりすることで、他校のよさを知り、自校の合唱を更に高めるための一助とし、さらに普段交流のない生徒同士が、この機会を生かして友情をはぐくみ、友達の輪を広げていく一助となればという願いもこめています。

会場は、当時完成したばかりの地域交流センター「はなもも」の大ホールを 施設利用促進の意義も含めて使用することになりました。このホールは約800人が収容でき、ステージでの合唱に必要な反響板も装備されている本格的なものです。



ドッジボール交流会の様子

## 3. 交流会の実施方法（昨年度の例）

実施にあたっては、以下の要領で行うこととしました。

- ・各校合唱曲2曲、自校の合唱の取組などの発表、合わせて15分程度。
- ・参加学年や合唱曲は学校裁量とする。
- ・全体合唱は、全員が座席位置で立って歌う。
- ・会の司会進行は生徒で行う。

## 合唱交流会概要

### ○参加生徒

- ・揖斐川中 2年生 93名
- ・坂内中 全員 3名
- ・北和中 2年生 48名、3年生 50名
- ・谷汲中 1年生 23名、2年生 21名

### ○日程 令和元年11月12日(火)

- 10:00～10:10 開会式
- 10:10～10:25 北和中・坂内中発表
- 10:25～10:40 谷汲中発表
- 10:40～10:55 休憩
- 10:55～11:15 揖斐川中発表
- 11:15～ 全体合唱「夢の世界を」
- 11:20～ 閉会式



## 4. 事業の評価について

町内全ての中学校が一堂に会することは各自が大いに刺激を受けたようです。以下、参加した生徒の声を紹介します。

- ・坂内中学校では、2人しかいないのでいつも1人が1パートを歌っています。だから、大勢で歌う楽しさや、歌の響きを間近に感じることができました。2年生の皆さんと合唱できて、とても楽しかったです。

- ・谷汲中学校2年生の合唱を聴いて、人数が少ないのに声量も大きく、特にソプラノが響いていてとても感動しました。私も一生懸命歌うことができたし、他校のよいところを北和中でも取り入れていきたいです。
- ・揖斐川中学校の合唱は、女声と男声のハーモニーがすごくよくて、北和中も負けてられないなと思いました。口形もまだ大きくできると思うので、次歌うときは、今回よりもっとよい響きの合唱になるように頑張りたいです。

## 5. 最後に

この取り組みは令和2年度においてはコロナ禍に見舞われ、残念ながら実施することができませんでした。しかしながら規模の違う学校が交流することにより生まれるメリットは大きなものがあります。今後も、揖斐川町は一つということを実感できる事業として継続していきたいと考えています。